

## じょう しき 常 識

わたしのうちに今、ブラジルのアナさんがホームステイしています。アナさんがかぜをひいたとき、母は「かぜなんだから、シャワーを浴びたり、おふろに入ったりしたらだめよ。」と言いました。アナさんは「どうしていけないかわかりません。病気のときは清潔が大切だし、わたしのうちでは熱が下がるようにシャワーを浴びたり、ぬるいお湯に入ったりします。」と言いました。それを聞いて、わたしたちはびっくりしました。熱があつたり、かぜをひいたりしているときは、おふろに入らないほうがいいと信じていたからです。学校で友達に聞いてみましたが、みんな「おふろは入らないほうがいいと思う。」と言いました。どうしてそう思うか、聞きました。「常識だよ。子どもときから、いつも言われたよ。」わたしはどうしてそんな常識ができたか、調べてみました。

昔、日本の家は冬とても寒かったので、熱いおふろに肩まで入って体を温める習慣ができました。熱いおふろは気持ちがいいですが、長く入ると、疲れます。体の調子が悪いとき、おふろに入ると、病気がひどくなります。それで、かぜのときや熱があるときは、おふろに入るといけないと思うようになりました。今は家の中も暖かいし、シャワーもあるし、ほとんど問題はありませんが、昔の常識のとおりになっている人が多い

いのです。

た もの むかし い じょうしき うめぼ  
食べ物について 昔 から言われている 常識 もあります。「うなぎと梅干し」  
「すいかとてんぷら」などはいっしょに食<sup>た</sup>べると、おなかをこわす<sup>い</sup>と言われて  
います。医学的に正<sup>い</sup>しいものはほとんどないのですが、多<sup>お</sup>くの人がまだ信<sup>しん</sup>じ  
ています。

せいかつ か むかし じょうしき しん へん ときどき  
生活が変わっても、昔 の常識 をそのまま信じているのは変です。時々そ  
の常識<sup>じょうしき</sup>が正<sup>ただ</sup>しいかどうか、どうしてその常識<sup>じょうしき</sup>ができたか、考<sup>かんが</sup>えてみたほう  
がいいでしょう。

大新所局 『大家的日本語 讀本篇 進階』 より